

掲示板

子ども神輿を貸します

和光市コミュニティ協議会の所有する子ども神輿が、総合福祉会館3階に保管されることになりました。貸出予約に関しては今まで通り和光市コミュニティ協議会(和光市役所6階市民活動推進課内)にて受付しています。神輿の貸出については自治会連合会事務局がいたします。皆様ご利用ください。



市民活動推進課からのお知らせ

「わこらぼフェス2022」 企画運営チームメンバー募集!!

今年も5月29日(日)に「わこらぼフェス」が開催することが決定しました。

みんなのアイデアでイチから協働で作上げるフェスです。ボランティアとして関わってくださる方を募集します。あなたのちからをお貸しください!

お問い合わせ・お申し込み

市民活動推進課
協働推進担当

TEL 048-424-9120



後期地区懇談会

後期地区懇談会は令和4年2月1日(火)から7日(月)まで5地区5会場にて午後7時から開催予定です。コロナ対策を講じて実施いたしますので、自治会長の皆様、マスク着用でお越しください。



事務局からのお知らせ

- 備品をお貸しします。ポータブル拡声器・プロジェクター・ラミネート作成機など、自治会行事で使用できます。借用については、早めに事務局にご連絡ください。
- 「自治会員の声」を募集しています。住所、氏名、電話番号を明記した上でご意見をお寄せください。(掲載時は匿名可)



和光市
自治会連合会
自治連

わこらぼ

令和4年
2月1日
30号

和光市イメージキャラクター
「わこらぼ」

新年のご挨拶

和光市自治会連合会 会長
木田 亮



あけましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

各自治会及び会員の皆様には、自治会連合会の事業推進に深いご理解とご協力を賜り心から感謝致しております。

新たな年を迎え、自治会連合会として積極的に各種事業に取り組んでまいりたいと考えておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大は若干減少しましたが、新型コロナの変異種「オミクロン株」感染が世界中に拡大しており、国内では予防対策はしているが予断を許さない現況であります。このような状況の中、在宅勤務や時差出勤等の社会の変化に伴い、他者との対面での交流が減り、孤独感を感じるようになってきており、人との関わりや人とのコミュニケーションが必要な状態であると思われまます。

令和4年度に向けて自治会連合会としては、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に取れ、研修会事業(感染症対策・成年後見制度・デジタル化)、レクリエーション事業、文化・スポーツ事業等に可能な限り取り組んでまいりたいと思っております。

コロナ禍により世界の国々の経済活動や社会生活等厳しい状況であり、このことは国内においても生活困窮者や孤独意識者の増加等の支援を考慮し、地域共生社会の構築が必要であります。忍耐と我慢の新たな新年のスタートですが、強い気持ちで安全で安心な暮らしができるまちづくりのために、自治会連合会として事業推進に積極的に取り組んでまいります。

本年が、自治会及び会員の皆様にとりましてご健勝でご発展されますことをご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。

和光市長
柴崎 光子



あけましておめでとうございます。市民の皆様には輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

自治会連合会・加盟自治会の皆様には、日頃から地域コミュニティの中心にあって、地域づくりや市政と地元の皆様との確かな架け橋としてご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、市民生活に大きな影響を与えた1年となりました。そのような中、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、和光市民からメダリストが誕生し、感動の渦に包まれました。また、広沢複合施設「わびあ」が令和3年12月にグランドオープンし、総合児童センター、市民プール、民間温浴施設、保健センターなどが誕生しました。

本年は引き続き、和光市駅北口の再開発、和光北インター東部地区のまちづくりなどを推進してまいります。また、地域共生社会の実現に向けて、高齢者の暮らしを支える仕組みの充実、障害者が安心できる障害福祉の推進、低所得者の生活の安定と自立への支援などに取り組んでまいります。

そして、地域の課題に取り組む住民組織として推進しております地区社会福祉協議会につきましては、6地区が設立しており、現在は、広沢小学校区、新倉小学校区、白子小学校区の3地区が設立にむけて準備しております。皆様とのさらなる緊密な連携により住みよいまちづくりに尽力してまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域活動を以前のように行うには、依然として厳しい状況が続いておりますが、皆様が感染拡大防止策を講じつつ、新しい方法で地域活動に取り組むことができるよう、市も引き続き支援してまいります。

本年も皆様とともに、市の将来都市像である「みんなをつなぐワクワクふるさと和光」を目指し、魅力あるまちづくりを推進してまいります。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の本年のご多幸・ご健勝を心からお祈り申し上げます。

編集後記



わだち会 星谷 光市郎

昨年は、新型コロナウイルスの流行により緊急事態の宣言がなされ、生活及び自治会の活動においても自粛が叫ばれ、活動に大きな制限が課せられました。

昨年11月から、新型コロナウイルス感染の減少が国内においてはあり、本年においては、昨年から新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大が懸念されています。この感染を皆さんの協力により、未然に防ぎ今後の自治会活動の正常化を図りたいものです。(当然感染の予防に注意)

広報編集委員

- 福西 真司(委員長 和光会)
- 加山 秀夫(白三泉)
- 大野 忠(南上町会)
- 星谷 光市郎(わだち会)
- 飯田 久夫(浅久保上町会)

問合せ：和光市自治会連合会事務局(和光市総合福祉会館内)

☎ 048(463)0104

自治連へのご要望は

▶ e-mail:wako.jichiren@wakokyodo.net

回覧板をご希望の自治会に配布しています。
事務局までお問い合わせください。

このカードを見せろ
おトク
Get!



おトクがいっぱい

自治会優待カード

検索して
情報Get!

協賛店のサービス内容は自治会優待カードのホームページをご覧ください。

スマートフォンから

パソコンから

和光市自治会優待カード



QRコードを読み取ってください



- 協賛店一覧(申し込み順)
- 協賛店一覧(エリア別)

ここから閲覧してください

実施日
12/12
(日)

第2回 市内一斉防犯パトロール



12月12日(日)市内各地で一斉に防犯パトロールが実施されました。

柴崎市長、朝霞警察、市職員が白子ガード下に集まり、7自治会(白子水門会・一竜会・大和会・藤の木・東輝・四晴会・ライオンズヒルズ和光)と白子地域をパトロールしました。ご協力ありがとうございました。



- ◆参加自治会数 **60**自治会
- ◆参加者 **285**人
- (自治会員**278**人、市・警察等**7**人)



実施日
11/21
(日)

第2回 クリーン・オブ・和光



11月21日(日)クリーン・オブ・和光が実施されました。

今回もたくさんの方に参加していただきました。中でも親子での参加が多く見受けられました。

- ◆参加自治会数 **82**自治会
- ◆参加者 **4,623**人
- ◆回収ごみ量 **7,780**kg
- 可燃ごみ **5,930**kg
- 粗大ごみ **1,850**kg



皆様、ご協力ありがとうございました。

防災意識を持とう!

第1回 避難所のコロナ対策

和光市役所危機管理室が避難所のコロナ対策として、「エアトープラス」という飛沫感染防止対策パーティションを導入しましたので、ご紹介します。

壁面には「交換ができる環境配慮型不織布」を使用。プライベート空間を確保しながらも、光を通す素材で急病などの緊急事態に備え、完全に見えない状況を作り出しません。



YouTube動画で柴崎市長が設置の方法を解説しています。

ご覧になる方は、

和光市BOSAIチャンネル

で検索



浪間貞氏、加山茂夫氏が表彰されました。



警察庁長官・(公財)全国防犯連合会会長 連名表彰 防犯栄誉銀賞

和光市自治会連合会顧問 浪間 貞氏



(公社)埼玉県防犯協会連合会会長・埼玉県警察本部長 連名表彰 地域安全功労者

白一東自治会長 加山 茂夫氏

朝霞警察署より自治会連合会に感謝状が授与されました。

東京2020オリンピック・パラリンピック射撃競技において、朝霞・新座警察署テロ対策「彩の国」ネットワークに参画し、地域の見守りでテロ防止対策に貢献したことにより今回の受賞につながりました。

自治会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



令和3年度 県内研修報告

日程 令和3年12月6日(月)
場所 埼玉県深谷市 渋沢栄一記念館等
参加者 19名

令和3年度の県内視察研修は、渋沢栄一記念館で郷土の偉人について学ぶとともに、深谷市の歴史に詳しい方からお話を聴くという内容で実施しました。

今年度の研修はコロナ感染症の為、人数を限定することになり、理事・役員のみにご案内をしました。渋沢栄一記念館に着くと、バスの車中にて埼玉県共助仕掛人の小林真氏に深谷の地理的特質や歴史、近年起きた災害に対する自治会の共助についてお話をいただきました。特に興味深かったのは、地元の特産品で有名な「深谷ネギ」は明治30年頃、川の氾濫により人が住めない地域で育てる野菜に適すると、利根川右岸の肥沃な沖積地帯で栽培するようになったというお話です。

自治会の共助事例では2014年の大雪の際、

地元の農家や個人の方が自前の農業用機械や重機で生活道路の除雪作業を自主的に行って、住民は大変助かったそうです。

渋沢栄一記念館では、栄一アンドロイドの講義を聴きました。この栄一アンドロイドは最先端技術で精巧に作られていました。経済の発展と共に、論語の思想を大切にせよとの教えは、現代の我々の心にも響くものがあり、参加者からも好評でした。

日帰り研修でしたが、参加者からはコンパクトで有意義なものであったとの意見が出されました。(事務局)

渋沢栄一 座右の銘

天意重夕陽
てんいせきゆうをおもんじ
人間貴晩晴
にんげんはんせいをどうとぶ

「夕陽が没する時に素晴らしい輝きを放つのは、天の意志だ。それと同じように人間も輝かしい晩年を輝かしい社会貢献を持って締めくくりたいものだ。」



埼玉県共助仕掛人小林真氏による講話



渋沢栄一記念館 栄一アンドロイド